

高知県感染症発生動向調査（週報）

2017年 第45週（11月6日～11月12日）

インフルエンザ予防接種について！

季節性インフルエンザは、その年により流行の程度に差がありますが、例年11月頃から患者が増え始め、12月から3月頃にかけて流行します。インフルエンザワクチンには、インフルエンザウイルスに感染した場合に発症を一定程度抑える効果や重症化を予防する効果が認められており、ワクチンを接種してから抗体ができて予防効果が発現するためには、およそ2週間かかると言われています。予防対策の1つとして予防接種をご検討下さい。

★お知らせ

○感染性胃腸炎に気を付けて！

定点医療機関当たりの報告数は第44週の2.23から第45週では3.83と増加しています。須崎で急減していますが、中央西で急増、幡多、高知市、安芸、中央東で増加しています。

定点医療機関からのホット情報ではノロウイルスが12例、細菌の病原性大腸菌やカンピロバクター属菌、サルモネラ属菌を原因とする胃腸炎9例の報告もあります。

また、学校等欠席者・感染症情報システム※でも14例の報告があることから引き続き注意が必要です。

ノロウイルスによる感染性胃腸炎は、主に冬場に流行しますが1年を通して発生しています。嘔吐、下痢が主症状ですが、その他、発熱、腹痛などの症状があります。特に、乳幼児や高齢者、体力の低下している方は、下痢、嘔吐などで脱水症状を起こすことがありますので、早めに医療機関を受診してください。通常は1週間以内に回復しますが、症状消失後も1週間程度、長いときには1ヶ月程度ウイルスの排出が続くことがあります。保育園や幼稚園、学校や社会福祉施設など集団生活の場で大規模な流行となることもあり注意が必要です。

予防対策のため、帰宅時や調理前・食事前、トイレの後に石けんでよく手を洗いましょう。また、感染した人の便やおう吐物には、直接触れないようにし、次亜塩素酸ナトリウムまたは、家庭用の次亜塩素酸ナトリウムを含む塩素系漂白剤の使用法を確認したうえで使用し処理しましょう。（使い捨ての手袋やキッチンペーパーなどを使って処理しましょう。）調理をする場合は、十分加熱しましょう。

●厚生労働省 「ノロウイルスに関するQ&A」

http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/shokuhin/syokuchu/kanren/yobou/040204-1.html

●衛生研究所 「高知県ノロウイルス対策マニュアル」

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130120/norovirus.html>

○A群溶血性レンサ球菌咽頭炎に気を付けて！

定点医療機関当たりの報告数は第44週の1.27から第45週では1.50と横ばいです。安芸、中央西で急減していますが、幡多で急増、高知市、須崎、中央東で増加しています。

定点医療機関からのホット情報では溶連菌感染症の報告があがっており、学校欠席者・感染症情報システム※でも14例の報告があることから注意が必要です。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎とは、冬季に多くみられるA群レンサ球菌による上気道の感染症です。A群溶血性レンサ球菌は上気道炎や化膿性皮膚感染症などの原因菌としてよくみられる菌で、菌の侵入部位や組織によって多彩な臨床症状を引き起こします。

突然38℃以上の発熱、咽頭発赤、莓状の舌などの症状が現れ、しばしばおう吐を伴います。熱は3～5日以内に下がり、1週間以内に症状は改善します。まれに重症化し、喉や舌、全身に発赤が広がる「猩紅熱（しょうこうねつ）」に移行することがあります。合併症には肺炎、髄膜炎、敗血症、リウマチ熱、急性糸球体腎炎などがあります。

患者の咳やくしゃみなどのしぶきに含まれる細菌を吸い込むことによる飛まつ感染、あるいは、細菌が付着した手で口や鼻に触れることによる接触感染が主な感染経路です。

乳幼児では咽頭炎、年長児や成人では扁桃炎が現れ重症化することもあるため、患者との濃厚接触をさけることが最も重要であり、うがい、手洗いなどの一般的な予防法も励行しましょう。

○ヘルパンギーナに気を付けて！

定点医療機関当たりの報告数は第44週の0.30から第45週では0.50と増加しています。中央東、中央西で急減していますが、安芸、高知市で急増し、安芸では注意報値を超えています。

※ 学校等欠席者・感染症情報システム：県内小中高等学校における疾病別患者数情報システム

☆野外活動の際にはマダニに注意！

日本紅斑熱やSFTS（重症熱性血小板減少症候群）は比較的大型（吸血前で3～4mm）のマダニが媒介する感染症です。

「マダニに咬まれないこと」がとても重要です。

マダニは野山、草地、畑、河川敷などに広く生息しています。屋外でキャンプ、ハイキングなどのレジャーや農作業をする場合には次のことに注意しましょう。（全てのマダニが病原体を持っているわけではありません）

- 長袖・長ズボン・長靴などで肌の露出を少なくしましょう。
- マダニに対する虫除け剤（有効成分：ディートあるいはイカリジン）を活用しましょう。
- 地面に直接座ったりしないよう、敷物を使用しましょう。
- 活動後は体や衣服をはたき、帰宅後にはすぐに入浴し、マダニに咬まれていないか確認しましょう。

発熱等の症状が出たとき

野山に入ってからしばらくして（数日～数週間程度）発熱等の症状が出た場合、医療機関を受診して下さい。受診の際、発症前に野山に立ち入ったこと（ダニに咬まれたこと）を申し出て下さい。

また、このたび発熱・衰弱等に加え血小板減少等の所見が見られた飼育ネコ及び飼育イヌの血液・ふん便からSFTSウイルスが検出された事例並びに、体調不良のネコからの咬傷歴があるヒトがSFTSを発症し死亡した事例が確認されました。これらの事例は稀な事例ではありますが、イヌやネコの体液等からヒトが感染することも否定できないので、体調不良の動物に接触した後、発熱等の症状が出た時には医療機関を受診して下さい。その際には、動物との接触歴についても申し出て下さい。

- 重症熱性血小板減少症候群（SFTS）に関するQ&A（厚生労働省）

http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou19/sfts_qa.html

- 高知県衛生研究所 ダニが媒介する感染症及び注意喚起パンフレット

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130120/2015111600016.html>

国内で入手できる忌避剤の種類と特徴

忌避剤	有効成分含有率	分類	有効持続時間	注意事項	特徴
ディート	5～10%	防除用 医薬部外品	1～2時間	6ヶ月未満児 には 使用禁止	・独特の匂い ・べたつき感 ・プラスチック・化学繊維・皮革を 腐食することもある
	12%	防除用 医薬品	約3時間		
	高濃度製 剤 30%	防除用 医薬品	約6時間	12歳未満は 使用禁止	
イカリジン	5%	防除用 医薬部外品	～6時間		
	高濃度製 剤 15%	防除用 医薬品	6～8時間		

※国立感染症研究所「マダニ対策、今できること」より抜粋

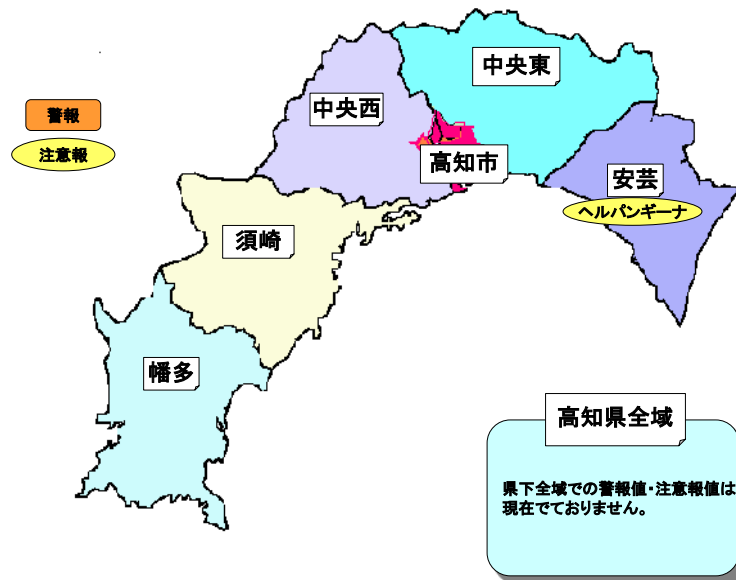
※市販の虫除け剤(忌避剤)は、用法・用量・使用方法等をよく読んで使用してください。

★県内での感染症発生状況

定点把握感染症（上位疾患） ↑：急増 ↗：増加 →：横ばい ↘：減少 ↓：急減

疾病名	推移	定点当たり報告数	県内の傾向
感染性胃腸炎	↗	3.83	須崎で急減していますが、中央西で急増、県全域、幡多、高知市、安芸、中央東で増加しています。
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	→	1.50	安芸、中央西で急減していますが、幡多で急増、高知市、須崎、中央東で増加しています。
RSウイルス感染症	↘	1.23	幡多で急減、県全域で減少していますが、中央西で急増しています。
手足口病	↘	0.70	中央東、中央西、幡多で急減、県全域で減少しています。
ヘルパンギーナ	↗	0.50	中央東、中央西で急減していますが、安芸、高知市で急増、県全域で増加しています。

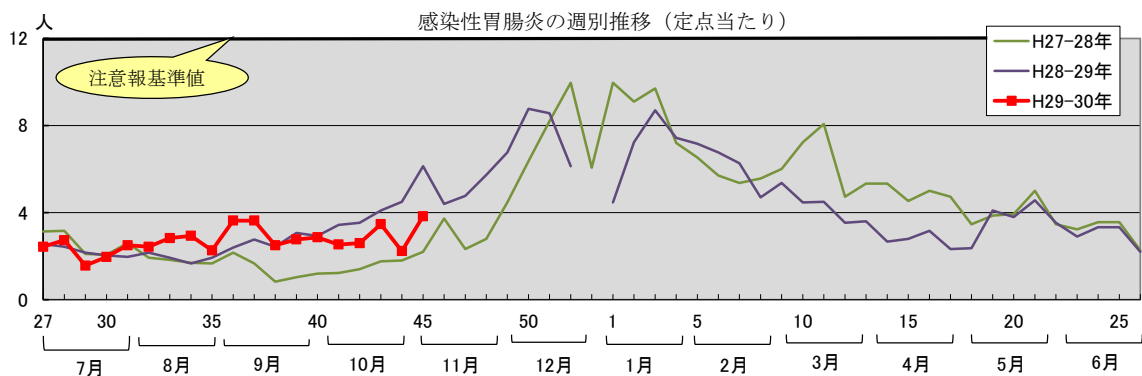
★地域別感染症発生状況



★気を付けて！

○感染性胃腸炎 第45週：3.83（注意報値：12.00 警報値：20.00）

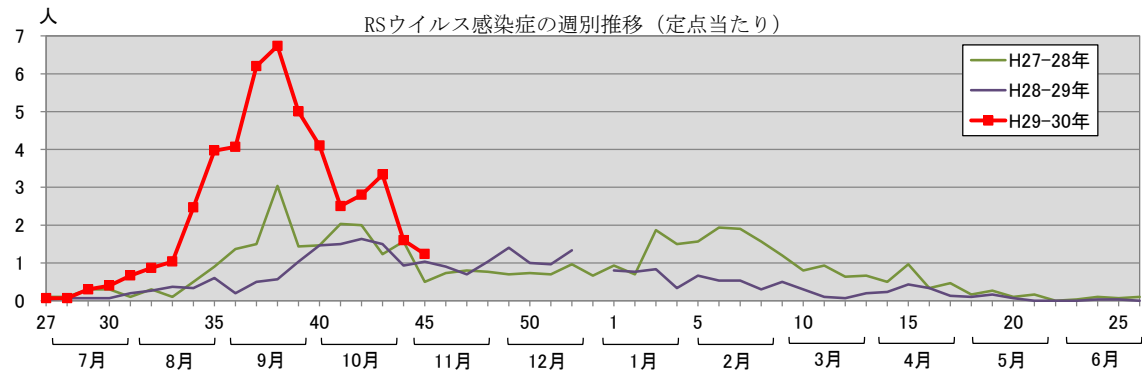
定点医療機関からの報告数は定点当たり 3.83（前週：2.23）と増加しています。須崎 0.00（前週：0.50）で急減していますが、中央西 2.67（前週：0.67）で急増、幡多 7.20（前週：4.20）高知市 4.09（前週：2.45）安芸 3.00（前週：2.50）中央東 2.86（前週：1.57）で増加しています。



〇RSウイルス感染症 第45週：1.23（注意報値：－ 警報値：－）

定点医療機関からの報告数は定点あたり1.23（前週：1.60）と減少しています。幡多0.60（前週：2.40）で急減していますが、中央西1.00（前週：0.33）で急増しています。

病原体検出情報では第44週に高知市から搬入された検体から Respiratory syncytial virus A、Respiratory syncytial virus Bが1例ずつ検出されています。



※グラフの途切れについて
H27-H28年は第53週までであるため、グラフ横軸に第53週を挿入しています。
そのため、H26-H27年とH28-H29年のグラフ第52週～第1週間に途切れが生じています。

★病原体検出情報

受付週	臨床診断名	臨床症状	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
45	呼吸器感染症	41℃,咳嗽,気管支炎,	1	男	中央東	Cytomegalovirus Human herpes virus 6

前週以前に搬入

受付週	臨床診断名	臨床症状	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
44	けいれん群発	40℃,下痢,嘔吐,嘔気,	1	女	幡多	Human herpes virus 6
44	手足口病	38℃,発疹,	1	男	須崎	Human herpes virus 7
44	下気道炎	咳嗽,下気道炎,	8	男	高知市	Respiratory syncytial virus B
44	上気道炎	咳嗽,上気道炎,	1ヶ月	男	高知市	Respiratory syncytial virus A

★全数把握感染症

類型	疾病名	件数	累計	内容	保健所
2類	結核	1	99	70歳代 女	高知市
		1		70歳代 女	
5類	急性脳炎	1	1	40歳代 男	幡多
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	4	50歳代 女	中央東
		1		30歳代 男	
	梅毒	1	21	20歳代 女	高知市

★定点医療機関からのホット情報

保健所	医療機関	情報
中央東	おひさまこどもクリニック	カンピロバクター腸炎1例(4歳女) 耳下腺炎4例(44週2例、45週2例全例ムンプスIgM陰性)
高知市	高知医療センター小児科	RSウイルス感染症3例(1歳男、3歳男、5歳女) ノロウイルス1例(6歳男)
	福井小児科・内科・循環器科	溶連菌感染症9例 手足口病3例 ヘルパンギーナ4例 流行性耳下腺炎1例(3歳男:ワクチン未接種)
	けら小児科・アレルギー科	カンピロバクター腸炎1例(7歳) 病原性大腸菌O-25腸炎1例(9歳) 病原性大腸菌O-8腸炎1例(9歳) 病原性大腸菌O-25+カンピロバクター腸炎1例(8歳) 病原性大腸菌O-1腸炎2例(5歳、16歳) ノロウイルス腸炎4例(2歳3人、4歳) アデノウイルス扁桃炎1例(2歳)
	細木病院小児科	ノロウイルス4例(1歳男2人、2歳女2人) サルモネラ1例(7歳女)
中央西	くぼたこどもクリニック	マイコプラズマ感染症2例(8歳男:須崎、10歳女:須崎)
須崎	もりはた小児科	肺炎マイコプラズマ感染症5例(1歳、8歳2例、10歳、11歳) 水痘3例(2例ワクチン済み)
幡多	さたけ小児科	感染性胃腸炎22例(軽症例が多い)
	幡多けんみん病院小児科	ノロウイルス陽性3例(1歳女、3歳男、6歳女)

★全国情報

第43号(10月23日～10月29日)

- 1類感染症：報告なし
- 2類感染症：結核352例
- 3類感染症：細菌性赤痢1例、腸管出血性大腸菌感染症93例
- 4類感染症：E型肝炎4例、A型肝炎6例、オウム病1例、重症熱性血小板減少症候群3例、チクングニア熱1例、つつが虫病5例、デング熱6例、日本紅斑熱12例、レジオネラ症54例、レプトスピラ症1例
- 5類感染症：アメーバ赤痢16例、ウイルス性肝炎3例、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症37例、急性脳炎4例、クロイツフェルト・ヤコブ病3例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症2例、後天性免疫不全症候群13例、ジアルジア症1例、侵襲性インフルエンザ菌感染症3例、侵襲性肺炎球菌感染症23例、水痘（入院例に限る）3例、梅毒73例、播種性クリプトコックス症4例、破傷風1例、風しん4例

報告遅れ：E型肝炎3例、つつが虫病1例、デング熱1例、日本紅斑熱3例、レジオネラ症15例、レプトスピラ症1例、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症16例、急性脳炎1例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症4例、水痘（入院例に限る）1例、梅毒70例、播種性クリプトコックス症2例、薬剤耐性アシネトバクター感染症1例

★定点医療機関当たり報告数について

感染症週報で感染症の流行状況をお知らせする際に「定点医療機関当たり報告数」という表現を使用しています。

この「定点医療機関当たり報告数」について、よくご質問をいただくためご説明させていただきます。

高知県感染症情報センター（高知県衛生研究所）では、全臨床医に全数届出を求める【全数把握対象疾患】に加えて、定点医療機関において、【定点把握対象疾患】と診断された患者数の報告を受け、全国情報等と併せて、感染症週報に掲載し公表しています。

【定点把握対象疾患】

	インフルエンザ	小児科	基幹	性感染症	眼科
週単位で届出	インフルエンザ（鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く）	RSウイルス感染症 咽頭結膜熱 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 感染性胃腸炎 水痘 手足口病 伝染性紅斑 突発性発疹 百日咳 ヘルパンギーナ 流行性耳下腺炎	感染性胃腸炎（病原体がウイルスであるものに限る） クジミア肺炎（オウム病を除く） 細菌性髄膜炎（髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く） マイコプラズマ肺炎 無菌性髄膜炎		急性出血性結膜炎 流行性角膜炎
月単位で届出			ペニシリン耐性肺炎球菌感染症 メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症 薬剤耐性緑膿菌感染症	性器クジミア感染症 性器ヘルペスウイルス感染症 尖圭コンジローマ 淋病感染症	

「定点医療機関当たり報告数」とは、これら定点把握対象疾患の感染症毎の報告数を県、保健所ごとの定点医療機関数で割った値のことで、県、各保健所ごとの定点医療機関数は下表のとおりとなっています。

各地域の定点医療機関数は、「高知県感染症発生動向調査要綱」で各保健所管内の人口当たりの数により定められています。

各保健所管内間の報告数を定点医療機関数で割り、1医療機関当たりの報告数（平均）で比較することで、各保健所管内の流行状況を比較することができます。

定点医療機関数

	安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多	合計
インフルエンザ	4	11	16	5	4	8	48
小児科	2	7	11	3	2	5	30
基幹	1	1	5			1	8
性感染症		2	2			2	6
眼科	1		1			1	3

例) 今週（第45週）の感染性胃腸炎でみると、高知市の報告数は45件、幡多は36件です。単純に比較すると高知市(45)>幡多(36)となりますが、定点医療機関数(小児科)で割ると、高知市4.09(45/11)<幡多7.20(36/5)となり、幡多の流行が大きいこととなります。

高知県感染症情報(59定点医療機関)

第45週 平成29年11月6日(月)～平成29年11月12日(日)

高知県衛生研究所

定点名	疾病名	保健所	安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多	計	前週	全国(44週)	高知県(45週未累計) H29/1/2～H29/11/12	全国(44週未累計) H29/1/2～H29/11/5
インフルエンザ	インフルエンザ				2				2 (0.04)	(0.00)	2,407 (0.49)	14,654 (305.29)	1,377,812 (278.74)
小児科	咽頭結核膜炎				3				3 (0.10)	5 (0.17)	1,621 (0.51)	371 (12.37)	73,835 (23.39)
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		3	4	31		3	4	45 (1.50)	38 (1.27)	5,940 (1.88)	2,249 (74.97)	298,603 (94.58)
	感染性胃腸炎		6	20	45	8		36	115 (3.83)	67 (2.23)	10,937 (3.47)	5,012 (167.07)	701,299 (222.14)
	水痘			1	2	1	3	1	8 (0.27)	13 (0.43)	1,469 (0.47)	517 (17.23)	46,597 (14.76)
	手足口病			1	20				21 (0.70)	27 (0.90)	5,126 (1.62)	3,228 (107.60)	334,586 (105.98)
	伝染性紅斑								(0.00)	1 (0.03)	173 (0.05)	110 (3.67)	10,468 (3.32)
	突発性発疹			2	5				7 (0.23)	9 (0.30)	1,259 (0.40)	476 (15.87)	62,984 (19.95)
	百日咳								(0.00)	1 (0.03)	50 (0.02)	25 (0.83)	1,385 (0.44)
	ヘルパンギーナ		4	1	10				15 (0.50)	9 (0.30)	967 (0.31)	570 (19.00)	82,486 (26.13)
	流行性耳下腺炎				2				2 (0.07)	2 (0.07)	899 (0.28)	189 (6.30)	70,470 (22.32)
RSウイルス感染症			7	20	3	4	3	37 (1.23)	48 (1.60)	3,033 (0.96)	1,646 (54.87)	120,420 (38.14)	
眼科	急性出血性結膜炎								(0.00)	(0.00)	8 (0.01)	(0.00)	369 (0.53)
	流行性角結膜炎								(0.00)	1 (0.33)	484 (0.70)	15 (5.00)	22,172 (31.90)
基幹	細菌性髄膜炎			1					1 (0.13)	1 (0.13)	9 (0.02)	5 (0.63)	443 (0.93)
	無菌性髄膜炎								()	(0.00)	11 (0.02)	7 (0.88)	831 (1.74)
	マイコプラズマ肺炎				2				2 (0.25)	(0.00)	185 (0.39)	81 (10.13)	6,777 (14.21)
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)								()	(0.00)	5 (0.01)	11 (1.38)	227 (0.48)
	感染性胃腸炎 (ロタウイルスに限る)								()	(0.00)	4 (0.01)	87 (10.88)	4,882 (10.23)
計 (小児科定点当たり人数)		13 (6.50)	37 (5.14)	142 (12.67)	12 (4.00)	10 (5.00)	44 (8.80)	258 (8.47)			34,587	29,253 (785.07)	3,216,646
前週 (小児科定点当たり人数)		12 (6.00)	31 (4.29)	117 (10.53)	8 (2.67)	15 (7.50)	39 (7.80)		222 (7.33)				

注 ()は定点当たり人数。

高知県感染症情報(59定点医療機関)定点当たり人数

定点名	疾病名	保健所	安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多	計	前週	全国(44週)	高知県(45週未累計) H29/1/2～H29/11/12	全国(44週未累計) H29/1/2～H29/11/5
インフルエンザ	インフルエンザ				0.13				0.04	0.00	0.49	305.29	278.74
小児科	咽頭結核膜炎				0.27				0.10	0.17	0.51	12.37	23.39
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1.50	0.57	2.82		1.50	0.80	1.50	1.27	1.88	74.97	94.58
	感染性胃腸炎		3.00	2.86	4.09	2.67		7.20	3.83	2.23	3.47	167.07	222.14
	水痘			0.14	0.18	0.33	1.50	0.20	0.27	0.43	0.47	17.23	14.76
	手足口病			0.14	1.82				0.70	0.90	1.62	107.60	105.98
	伝染性紅斑								0.00	0.03	0.05	3.67	3.32
	突発性発疹			0.29	0.45				0.23	0.30	0.40	15.87	19.95
	百日咳								0.00	0.03	0.02	0.83	0.44
	ヘルパンギーナ		2.00	0.14	0.91				0.50	0.30	0.31	19.00	26.13
	流行性耳下腺炎				0.18				0.07	0.07	0.28	6.30	22.32
RSウイルス感染症			1.00	1.82	1.00	2.00	0.60	1.23	1.60	0.96	54.87	38.14	
眼科	急性出血性結膜炎								0.00	0.00	0.01	0.00	0.53
	流行性角結膜炎								0.00	0.33	0.70	5.00	31.90
基幹	細菌性髄膜炎			1.00					0.13	0.13	0.02	0.63	0.93
	無菌性髄膜炎								0.00	0.00	0.02	0.88	1.74
	マイコプラズマ肺炎				0.40				0.25	0.00	0.39	10.13	14.21
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)								0.00	0.00	0.01	1.38	0.48
	感染性胃腸炎 (ロタウイルスに限る)								0.00	0.00	0.01	10.88	10.23
計 (小児科定点当たり人数)		6.50	5.14	12.67	4.00	5.00	8.80	8.47			785.07		
前週 (小児科定点当たり人数)		6.00	4.29	10.53	2.67	7.50	7.80		7.33				

発行：高知県感染症情報センター（高知県衛生研究所）

〒780-0850 高知市丸ノ内2-4-1（保健衛生総合庁舎1階）

TEL：088-821-4961 FAX：088-825-2869

この情報に記載のデータは2017年11月13日現在の情報により作成しています。調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがありますが、その場合週報上にて訂正させていただきます。